



各 位

平成 25 年 11 月 5 日

会 社 名 三菱自動車工業株式会社
代表者名 取締役社長 益 子 修
コート番号 7211 東証第 1 部
問合せ先 常務執行役員 経営企画本部長
黒井義博
(T e l . 0 3 - 6 8 5 2 - 4 2 0 6)

**ルノー・日産アライアンスと三菱自動車
広範囲に及ぶグローバルな商品・技術における協力関係を検討**

ルノー・日産アライアンスと三菱自動車は、商品、技術、生産能力を 3 社で共用する新たなプロジェクトを共同で検討することに合意しましたので、添付プレスリリースのとおりお知らせいたします。

以上



2013年11月5日

**ルノー・日産アライアンスと三菱自動車
広範囲に及ぶグローバルな商品・技術における協力関係を検討
新たなプロジェクトでグローバルな商品展開と生産能力の活用を促進**

ルノー・日産アライアンスと三菱自動車は5日、商品、技術、生産能力を3社で共用する新たなプロジェクトを共同で検討することに合意しました。これにより、日産と三菱自動車の戦略的協力関係が、ルノー・日産アライアンスにまで拡大することになります。

日産と三菱自動車は、両社の合併会社である株式会社 NMKV を発展・強化し、電気自動車バージョンを含む、新たなグローバルエントリーカーの共同開発を検討しています。この車両は、日本国内市場で人気の高い軽自動車のプラットフォームをベースとする予定です。なお、商品、販売市場、生産に関する詳細は別途発表する予定です。

また、ルノー・日産アライアンスと三菱自動車は、電気自動車および最新のプラットフォームに関連した技術と商品を共用していく意向です。ルノー、日産、三菱自動車は、共に量販型ゼロエミッション車の発売においてパイオニアでもあります。

ルノーと三菱自動車は、まず、ルノーの車両をベースにした三菱ブランドの新型セダン2車種の発売を、以下の前提で検討しています。それ以降のプロジェクトについても今後検討を行っていきます。

- セダン第1弾は、米国およびカナダのDセグメント市場に投入を予定するもので、生産場所は韓国、釜山のルノー・サムスン工場
- セダン第2弾は、グローバルのCセグメント市場に投入を予定するもので、生産工場は現在協議中

ルノー・日産アライアンスの会長兼CEOのカルロスゴーンは、「日産と三菱自動車は、今までいくつかの協業を行い、メリットを享受してきました。最も新しい協業は、日本での軽自動車の合併会社の成功です。この協力関係の拡大に向け検討を行っていくことを喜ばしく思います。これは、日産と三菱自動車の間での生産的な協力関係をさらに活用し、ルノーに新たな機会をもたらすことになります。」と述べました。

三菱自動車社長の益子修は、「三菱自動車は、今までの日産自動車との共同プロジェクトの結果として、再び日産と、そして今回はルノーとも、さらなる協業を共に推進していけることを嬉しく思っています。この新たな機会は、三菱自動車と日産の現行の共同プロジェクトが有益な成果をもたらしていることの証と言えます。私たちは、ルノー・日産アライアンスとの共同プロジェクトにより、さらなるメリットがもたらされることを願っています。」と述べました。

日産と三菱自動車は、両ブランドの軽自動車を共同開発するために、2011年6月、合弁会社の株式会社 NMKV を設立しています。同社で手掛けた初めての商品である、日産「デイズ」と三菱「eK ワゴン」は、今年日本で発売されました。両車とも、三菱自動車の水島製作所で生産されています。

以上

お問い合わせ先:

日産自動車株式会社

グローバルコミュニケーション本部

Tel: 045-523-5521 (企業)/5553 (商品)/5520 (IR)

www.nissan-newsroom.com/JP/(プレス情報)

www.nissan-global.com/JP/IR/(IR 情報)

三菱自動車工業株式会社

広報部

Tel: 03-6852-4274

<https://library.mitsubishi-motors.com/contents/login.do>(プレス情報)